

1-B-8.

商品自動車の船舶輸送への転換

<トヨタ輸送(株)>

1. 概要

シフトした輸送機関	トラック ⇒ 船舶
輸送ルート	田原港 ↔ 名古屋港
主な対象貨物	商品自動車
導入時期	2003年10月
月間取扱貨物量	50便/日 相当(往復 180 ^千 □/便)
荷姿	バラ・裸貨物
出荷頻度	ほぼ毎日

2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

1) 実施理由

- ・ 輸送コストの低減
- ・ 環境問題への対応

2) 狙い

- ・ 田原⇔(豊田)⇔名古屋間を極力往復輸送を行い、物流コスト低減を目指している所であるが、昨今、この間の物量のアンバランスが発生した為、バランス調整を行うべく海上輸送にシフトした。
- ・ CO2 排出削減と交通量削減(渋滞緩和)

3. 対策効果

項目	対策効果 (実施前を100とした場合の実施後の数値: 実施後/実施前×100)
輸送コストの対策効果	20%
所要時間の対策効果	128%
トラック使用台数の対策効果	50%
トラック台キロの対策効果	50%
燃料使用量(又はCO2 排出量)の対策効果	39%

- ・ 100便/日の陸上輸送から50便/日相当(往復 180^千□/便)を海上輸送にシフト

3. 事業内容

